

1月18日(木)、19日(金)の2日間、初声中学校の生徒2名が、油壺の東京大学大学院理学系研究科附属臨海実験所で、職場体験をしました。



取材に行った時は、技術専門職員さんの指導で、たいへん多くの標本の中から、必要なものを選び出す作業をしていました。根気のいる作業です。研究の基礎となる重要な仕事を体験することができました。標本の中には、4本の腕?のアカヒトデ(ふつうは5本)も見られました。また、ホヤの受精と孵化の様子も観察し、電子



顕微鏡の使い方も指導していただいたようです。実験所の皆さん、貴重な体験をさせていただき、本当にありがとうございました。



市内のある小学校の先生の海洋教育に携わってみてのコメントです。

・海洋教育の授業づくりをすると、教師自身が三浦の良さに気づきます。子どもたちも新たな疑問が湧いてきて、「なぜ?」「もっと知りたい」という思いが強まります。こんな楽しさを感じていける子どもたちを求めていきたいのです。海洋に関わる全てのことが、人間の生き方につながっていて、自分を見つめなおすきっかけになると思います。

・どっぴり海洋教育にひたってみたらどうかと思うのですが、総合的な学習の時間の持ち方、それぞれの先生方の海洋教育のとらえかた、なかなか難しいところです。・・・みんな忙しい中で、不安が多いのだと思います。あきらめずに海洋教育を広めていくことをがんばっていきたいと思っています。(写真と文章は関係ありません。)



本研究所では、日本財団の助成を受けて、海洋教育関連の図書を購入し、市内全小中学校に貸し出しています。

写真は、そのうちの1冊。私たちも、買ってから気が付いたのですが、普通の図鑑のようですが、カバーの裏側を見てびっくり。巨大なクロマグロの写真が・・・。ボールペンと比べると、その大きさと迫力が分かります。各学校に届いているはずなので、興味がある方は、ぜひ、ご覧ください。ほかにも、大人が見ても楽しい本がたくさんありますので、ご活用をお願いします。



(文責 事務局長 渋谷)

海洋教育に関するお問い合わせは、みうら学・海洋教育研究所 854-9443 まで